



ヨーロッパアンカー&クラシックカーによるカーツアー

Nippon ClassicCar Rally 2006

法隆寺・奈良

案内状

時下 ますますご健勝の事とお慶び申し上げます。

さて、この度下記及び別紙開催規約の内容にて、古都・奈良で初の欧州車&クラシックカーによるツアーイベントを開催いたします。名所・旧跡の多数存在する大和路を皆様と一緒に、楽しく駆け抜けてみたいと思う所存でございます。開催趣旨にご賛同賜り、ぜひご参加いただけますようお願い申し上げます。

■開催趣旨

法隆寺創建 1400 年

法隆寺は飛鳥時代の姿を現在に伝える木造建築として、広く世界に知られています。その創建は推古天皇と聖徳太子により 607 年（推古 15 年）と言われ、来年は創建 1400 年にあたります。この様な輝かしい伝統を今に伝えることにより 1993 年にはユネスコによる世界文化遺産に日本で始めて登録されました。

クラシックカーによりこの大会は、歴史文化を体感、素晴らしい森を湖を走破、スタートの起点である法隆寺・斑鳩・奈良を各方面に発進します。

■コース紹介

日本で初めて世界文化遺産に登録された法隆寺を起点に、今回のツアーは 3 つのレグにて構成されております。それでは、大和路を巡る世界をご案内いたしましょう…

- ◎第 1 レグは耳成山・天香具山・畝傍山の大和三山を見ながら、若干混み合う橿原神宮周辺を抜けて日本最古の里・飛鳥へ向かいます。飛鳥には石舞台古墳をはじめ、世界的に有名な高松塚古墳、そして山田寺や飛鳥寺など由緒ある古墳や寺跡が多数ございます。そちらを通過しますと、この季節に「ぼたん祭り」で賑わう桜井・長谷寺へまいります。そして初瀬ダムを横目にワイディングロードをぬけて、若干早めですが美味しいイタリア料理を舌鼓まして、関西のモータースポーツのメッカ・名阪スポーツランドの楽しいタイムトライアル（ジムカーナ）で終了いたします。
- ◎第 2 レグは、奈良県特有の森と湖の世界へと景色が変わります。快適なやまなみハイウェイを少し速めの速度で駆け抜けると、眼下に室生湖を眺め、深い緑の森の中にたたずむ、室生寺へ到着します。梅坂峠・奥香落などの曾爾高原を右手に眺めながら、室生火山群の活動が作りだした、雄大な溪谷ぬけるとし青蓮寺湖が見え始め、三重県名張市へ入ります。梅林が有名な月ヶ瀬湖横を通過し、名阪国道を南下。再び名阪スポーツランドへ戻り、ジムカーナで終了となります。
- ◎第 3 レグは、まずスピードの出し過ぎに注意しましょう（笑）。多くのゴルフ場や布目ダム沿いをぬけて、剣豪の郷・柳生へ向かいます。こちらでは昔の「忍び」の雰囲気を感じながらの走行となります。芳徳寺から正木坂道場・柳生陣屋敷跡など、若干薄暗い道を南下しますと、水間峠・針伏峠から奈良市内を一望できます。そして、高円山を右手に東大寺に向けて奈良公園へ…春日大社などが存在する奈良公園では 1200 頭を超える鹿と戯れる事ができ、皆様のお車のすぐ横に寄ってくるかもしれません。その後、国立博物館・奈良県庁・興福寺などを抜けると、いよいよ最終ゴールに向けて、阪奈道路を生駒に向けて駆け上がります。途中にある唐招提寺や薬師寺などの世界遺産に立ち寄りたいたるところですが、こちらは次回のラリーでといたしましょう。さあ、阪奈道路の頂上をぬけ左折すると、大阪を一望できる豪華で美しい阪奈カントリークラブでゴール。皆様と一緒にティーパーティーで健闘を称え合いたいと思います。